



第2弾はキャリア教育に参加した皆さんからのお声をお届けします。



豆ボラの学生ボランティアやそのOB、神守中の卒業生の8名と、2年生の生徒が懇談をする場として「キャリア教育：地域の先輩たちと座談会」が1月21日に実施されました。少人数のグループでボランティアさんと和やかにお話をしました。

将来の希望に向けてどのような勉強をしているか（していたか）、また、夢や希望を実現したり直面した困難を克服したりするために、どのように努力をしたかなどをボランティアさんから聞きます。生徒さん自身の今後の進路選択について考えるため毎年1回、中学2年生を対象に授業の一環として開かれています。

キャリア教育に参加したお二人と生徒さんたちの感想です。



学ボラ2年目で先生を目指すDさん

率直に子どもたちにとっても私にとってもいい経験になる授業だと思いました。私が中学生の時にあったらよかったと思います。学業に対する不安を気軽に相談でき、勉強に関するモチベーションもあがると思います。これはぜひ続けて頂きたいです。また他の学校でも行ってほしいと思いました。

神守中卒業生で社会人1年目のEさん

自分が在校中は、クラスに一人はやんちゃな子がいました。今は真面目でおとなしく感じます。在学時に比べて挨拶がしっかりしていてびっくりしました。また「中2病」の生徒がいないことにも驚きました。学校が楽しいと言えることがとても羨ましく感じました。みんな一生懸命頑張っている姿を見て、私もまた部活をやりたいと思いました。昨年のキャリア教育のボランティアのメンバーを覚えていた3年生がいました。やっぱり真面目に参加してたんだと思いました。今の神守中は、一言でいうと「真面目」です。



キャリア教育に参加した生徒さんたちの感想(学校通信「至誠」より抜粋)



女子生徒 私が心に残った言葉は、勉強だけでなく日頃の生活も大事ということです。この言葉を聞いて、日頃からしっかり頑張ろうと思いました。あと面接のときにもじもじせず、わからないことはわからない世正直に言おうと思います。

男子生徒 僕は高校受験が不安だったので、今回ボランティアさんに質問できてよかったです。みんなが不安なんだと聞いて、少し安心しました。その不安を少しでも和らげるために今までの自分を振り返ってみようと思いました。

女子生徒 私はお話を聞いて、自分に自信をもつことが大切だということ学びました。だから、今以上に自信を持ち、3年生になったらいろいろな役に立候補しようと思います。

男子生徒 話を聞いてどれだけ緊張や失敗をしても、ネガティブに考えず、ポジティブに思うことが大切だと学びました。本当にありがとうございました。

女子生徒 貴重な話をありがとうございました。ボランティアさんの話を聞いて、気持ちの「切り替え」が大切なことが分かりました。高校の吹奏楽部の話をしてくださったので、部活動も楽しみになりました。



コーディネーター裏話

この支援活動のポイントは年に1回学校から指定される日の平日朝から夕方まで参加できる学生ボランティアさんや社会人の方を探すこと。これがコーディネーターの役割になります。

いろんな立場の方、例えば先生を目指す学生さん、一般企業に就職が決まっている学生さん、実際に働いている社会人、中には神守中の卒業生にも来ていただいて、なるべく多くの方からのお話を聞く機会を持ってもらいたいので、その点が毎回一番苦労します。日頃の連絡手段であるメールを使い、この授業が生徒さんの進路や夢の実現のためになるように願いながら、この企画にふさわしいボランティアさんを探します。

生徒さんに身近に感じてもらうため大学生から20代前半の若い方をお願いしています。中には人前で話すのが苦手な方もいますし、有給休暇をとって参加してくれる社会人の方もいます。

この活動でボランティアさん自身が何故その道に進んだか、夢を持ったか等の原点を見つめ直したり、生徒さんは将来を具体的に考えたりするきっかけとなり、有意義な時間となっていると毎回感じています。より長くこの活動が続くよう豆ボラが支えていきたいと思います。